

人と本気で向き合い、未来を切り拓く。

2023
(2022年度実績)

Sustainable action report

サステナブル アクションレポート

地域に根付いた20のサステナブルアクション



サステナブル

Action Report アクション レポート



Action
1

環境・生物多様性

[2022.11.20]

生物多様性&キャリア支援イベント 産学民連携による生物多様性の調査

新宿区の生物多様性と子ども達のキャリア支援をテーマとして産学民連携を立ち上げ、2022年11月20日(日)に都営戸山公園にてイベントを開催いたしました。

千葉大学で生物研究をしている大学生「加藤凜久(かとうりく)さん」、戸山地区で市民活動を実施している団体「えんがわ家族」と多様なセクターでの産学民連携を組み「インセクトキャリア研究会」を立ち上げ、子ども達が入りやすい「虫」をテーマに企画実施いたしました。

イベントでは環境保全活動、公園のゴミ拾い、虫探し、「働き方」の芽を育むきっかけとなる虫の役割や働き方の調査とレポートの作成などを実施いたしました。企業単独ではなく、産学民と公園の様々なセクターの連携で取り組むこと、虫探しだけでなく公園の美化、キャリア支援にもつながる活動に結び付けること、虫博士である動物や昆虫の研究者を目指す大学院生のキャリア形成にもつながることなど企業のサステナブル活動だけでなく、NPOの課題解決、学生や子ども達のキャリア支援、公園の美化と複合的な課題の解決につながるサステナブル推進につながるイベント実施できました。今後もこの活動を継続させ、最終的には、「公園の生物多様性の変化レポート」と「虫のやくわり図鑑」を参加者と作りながら、新宿の公園にどのような虫がいて、虫の居場所をどのように確保していくのか、その虫たちにはどのような役割があるのかの研究を進めていきます。

協業先の声

わたなべ もえ
えんがわ家族 渡辺 萌絵さん

来年度は、今年度には実施できなかった行政との関係づくりも進めていく事で、共に更なる活動の発展に繋げていければと思います。今後も、新宿を舞台に共にワクワクする事や地域課題解決に繋がる活動を生み出していけたら幸いです。引き続き、宜しくお願いいたします!

参加者の声

- ・虫の役割をきっかけに子どもと「働くこと」についてお話ができました。
- ・親子ともども虫博士のお話が勉強になりました。



▲ 16回新宿区エコワン・グランプリグループ部門「奨励賞」

Action
2

地域福祉貢献

[2022.11.20]

企業ボランティア活動

産学連携による地域交流イベントの開催

新宿区立障害者福祉センターから、新型コロナウイルスの影響で3年ほど休止となっていたポッチャ大会を開催するため、ボランティア参加のご依頼をいただきました。協働によるポッチャ大会は、新宿区内の福祉4施設、新宿区社会福祉協議会、新宿のJFL所属サッカーチーム「Criacao Shinjuku(クリアソン新宿)」、そして弊社の計7団体が参加し、センターの会議室にて開催。障害のあるなしに関わらず参加者みんなでポッチャを楽しみました。今後も地域の方々からボタニティア参加の依頼をいただけるように、ステークホルダーエンゲージメントに取り組んでいきます。



▲ ポッチャ参加者の集合写真

協業先の声

新宿区内社会福祉法人連絡会・(社福)新宿区障害者福祉協会

いまい やすゆき
今井 康之さん

これからも地域をワクワクさせる企画を期待しています。みんなで楽しんだり、支えたりすることで“新宿力”を高めていけたらと思っていますので、今後ともよろしくお願いたします。

Action
3

留学生の就労支援

[2022.09.11]

外国籍の方々の就労支援

産民連携による留学生就職支援

産民連携により日本語学校に通う留学生の就職支援をテーマとして、2022年9月11日(日)に「留学生就職準備セミナー」をオンラインとオフラインのハイブリッドにて開催いたしました。会場とオンライン合わせて25名の方が参加し、大盛況となりました。イベントは3部制で進行し、1部の講義には、弊社の海外事業本部の責任者が登壇し、外国籍の方々を対象に「日本での就業において必要な準備や対策」「就職先の企業が外国人の入社者に求めていること」などについてお話しいたしました。参加者の皆様にもご満足いただき、「勉強になった」「役に立った」などのコメントをいただくことができました。今後も本業でのノウハウを生かして、地域課題の解決に貢献できるように取り組んでいきます。



Employment Support

協業先の声

東京ボランティア・かわむら あきこ
市民活動センター 河村 暁子さん

本プロジェクトで、外国ルーツの方々の就労支援セミナーを実施することになり、企業のボランティアの方を募集している時に、何か社会貢献をしたいとのことで、ご協力いただきたいとお願いしました。今後は、社会貢献やボランティア関心のある社員の皆さんにもご支援いただければと思います。貴社のサステナブル担当者には、本センターの別のイベントでも実行委員としてお世話になり、本当に感謝しております。



▲ 産民実行委員メンバーの皆さま



▲ 就活準備交流会の様子



▲ フードバンク活動の様子

協業先の声

社会福祉法人 はせがわ しんや
新宿区社会福祉協議会 長谷川 真也さん

お預かりした食品は、令和4年8月13日(土)に新宿区内2カ所の福祉施設にて、計101世帯の方々にお渡ししました。本取り組みは、地域の方々のご協力があった活動です。今後ともよろしくお願ひいたします。これから、サステナブルな取り組みを新宿CSRネットワークでできるよう事務局もご一緒させていただきます。よろしくお願ひいたします。

Action
4

イベント

[2022.08~2022.11]

フードバンク活動の実施

産福連携による子育て世代の支援

新宿区社会福祉協議会が事務局を担う新宿区内の社会福祉法人連絡会が開催した「食品配付会」に参加するため、2022年8月と11月の2回に分けて社内で「フードバンク活動」を実施しました。地域の人材に関わる支援をする企業として、新宿区内在住で食の支援が必要な子育て世帯に食料品を寄付することで職の機会提供に繋がればという思いから取り組みに至りました。このフードバンク活動は、社内の有志により形成された任意団体「Donation Drive」により実施され、2回の活動で段ボール14箱分の食品を寄付することができました。

今後も様々なセクターのお力を借りながら、社内の寄付活動団体を中心に支援を継続し、地域の課題解決にできる範囲で貢献して参ります。

提供者の声

「助かりました。本当にありがとうございます」「子どもの食費が家計の負担になっているので、このような支援は助かりました」など提供先からは、たくさんの感謝の声をいただきました。



▲ セミナー開催で連携した皆様

Action 5

産官民の連携

[2022.10.05]

新宿区との連携講座

産官民連携による子育て支援講座の実施

社内の任意団体「企業で働くパパママPJ」が新宿区との協働により、男性の育児休暇・休業について悩んでいる方向けの講座を開催いたしました。企業として配信用のスタジオ提供と集客の支援をさせていただきました。

協業先の声

新宿区子ども家庭部
男女共同参画課

こやま やすほ
小山 泰歩 さん

今後も男女共同参画社会及びワーク・ライフ・バランスの推進に向けた区の取組にご協力をお願いします。

Action 6

NPO連携

NPOと企業の交流会 [2022.11.11]

企業とNPOの協働を考える交流会に登壇

▲ 講座の様子

新宿NPOネットワーク協議会からの依頼を受けて、非営利・営利という立場のNPOと企業がどのようなかたちで協働を実現していくのかを考える交流会を実施しました。交流会では、現在の企業のSDGs(持続可能な開発目標)、CSR(企業の社会的責任)、ESG(環境・社会・ガバナンス)の捉え方や、実際の当社の連携事例から協働の効果をご説明したり、トークセッションのファシリテーターを担わせていただきました。

協業先の声

一般社団法人
新宿NPOネットワーク協議会

しま りえこ
島 理英子 さん

いつもフットワーク軽く、どうやれば一緒にできるかを考えて下さり感謝しております。アイデアも沢山お持ちなので、是非引き続き一緒に何か面白いことが出来たらと思っています。

Action 7

イベント

[2022.12.24]

新宿SDGsフェス2022

グループ会社共同で地域のSDGsフェスに参加



▲ 新宿SDGsフェスのチラシ

NPO法人「新宿環境活動ネット」が開催する、新宿SDGsフェス2022にグループ会社・アクサス株式会社とともに参加し、子ども向けのイベントブースを出展しました。会場ではSDGs達成やゼロカーボンシティ実現に向けて、環境や社会に良い取り組みをしている企業NPO/NGO・大学・行政機関など36団体が出店し、体験型ワークショップやパネル展示など、子どもから大人まで楽しめるイベントとして開催されました。



新宿SDGsフェスの様子 ▲



新宿SDGsフェスの様子 ▲

協業先の声

NPO法人
新宿環境活動ネット

いいだ たかや
飯田 貴也 さん

新宿に本社を構えられている企業であり、サステナブル活動に熱心に取り組まれている様子を伺ったためぜひ協働したいと考え、お声がけさせていただきました。

Action
8

イベント

[2021.12~2022.02]

サステナブルシップ東京

産学連携による「フューチャーセッション」の開催

企業と学生が対話できる場を作りたいと、企業と学生の協働にてフューチャーセッション(多様な人々による未来のことについての対話)を実施しました。企業が支援する形で学生ファシリテーターによりイベントを開催し、多様な参加者と共に地域課題をいろいろな角度で見つめ未来を考える対話の機会が実現しました。



▲ サステナブルシップメンバー

協業先の声

株式会社COOON ふなはし しゅん
船橋 諄さん

イベントだけに限らず継続的に中長期的な活動をご一緒させていただきたいと考えております。



▲ 青山学院大学での講義の様子

Action
9

講義

[2022.05~2022.10]

青山学院大学での講義

サステナブルに関する学習機会の提供

企業のサステナブル活動に関する事例を紹介して欲しいと連携のお話をいただき、青山学院大学の青山スタンダード科目フレッシューズセミナーやゼミ形式の授業にてお話しする機会をいただきました。

協業先の声

一橋大学 たなか ゆかこ
(前 青山学院大学) 田中(坂部) 有佳子さん

積極的に授業の計画から当方の求めるテーマに沿い協働していただいたことに感謝しています! 学生だけでなく、教員もその過程で協働し、新しい授業を生み出す過程を楽しむことができ、かつ、学生も気づきを得られたことに、ただただ感謝いたします

Action
10

イベント

[2022.10.01]

ダイバーシティ・パークin新宿 2022への参加

▼ ブース出店の様子



産福連携により地域のダイバーシティイベントに参加

「新宿CSRネットワーク」(事務局:新宿区社会福祉協議会)の加盟企業の協働により、「ダイバーシティ・パークin新宿2022」にブースを出展しました。「ダイバーシティ」をテーマとし、様々な障害・文化・価値観の枠組みを超えて個性が混ざり合い、お互いを理解し共存していくきっかけ作りを願う地域イベントで、当日は、たくさんの方との交流をはからせていただきました。

Action
11

講演

[2022.08~2022.12]

ヒューマンライブラリーの開催



社会を理解するための社内勉強会

「企業がサステナブル活動に取り組む必要性」の理解を深めるため、貧困、飢餓、福祉、安全なトイレ、人や国の不平等、気候変動、海の豊かさ、陸の豊かさ、平和などの社会課題の語り手や当事者をゲストにお招きし、まずは「知る機会」を提供するために定期的に社内サステナブル勉強会を実施しています。

協業先の声

帝京科学大学 いわぬま そういちろう
岩沼 聡一郎さん

自分の見たスポーツ×福祉の景色を企業の方に知っていただく機会となるため登壇させていただきました。ダイバーシティやインクルーシブに興味を持っていただける企業にスペシャルオリンピックスや知的障害のことを知っていただけました。

協業先の声

DIAM JAPAN株式会社 かみいしだ けいこ
上石田 恵子さん

同じ新宿区内でCSR活動に取り組んでいる企業同士の連携による開催となりました。経験豊富でイベントがスムーズに進み、参加した子ども達が非常に喜んでいました。

Action
12

障がい者支援



企業と養護学校のお手紙の交流会

新宿区立新宿養護学校中学部の生徒の皆さんとお手紙交流のため、社内でボランティアチームを結成し社会人の日常を伝える手紙を作成して取り組みました。

Action
13

地域清掃活動



「新宿年末クリーン大作戦」に参加

新宿区で毎年末に行われる「新宿年末クリーン大作戦」に社内ならびにグループ会社のアクサス株式会社とともに、ゴミ拾い合同チームを結成しての参加となりました。

Action
14

企業ボランティア活動



「ボランティアフォーラム東京2023」の
実行委員に企業ボランティアとして参加

東京ボランティア市民活動センターが開催する「ボランティアフォーラム東京2023」の実行委員に企業ボランティアとして参加しました。企画、分科会の開催などフォーラムの実施に向けて関わらせていただきました。

Action
15

寄付活動



日本赤十字社東京都支部と認定NPO法人ビッグイシュー基金に防災備蓄品を寄付
防災用として管理していた備蓄品を整理し、日本赤十字社東京都支部と認定NPO法人ビッグイシュー基金に寄付にさせていただきました。

Action
16

地方創生



マイナビ仙台レディースとの協働

マイナビ仙台レディースのユニフォームパートナー契約をきっかけに、女性活躍推進の実現を目指した協働プロジェクトが始動しました。

Action
17

社内のサステナブル推進プロジェクト

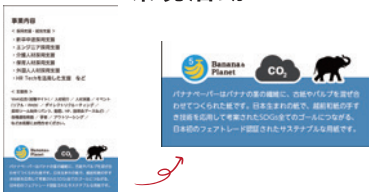


社内のサステナブル推進プロジェクトチーム
による活動

社内にサステナブル推進プロジェクトを設立し、マイバック、マイボトル、脱プラスチックなど環境をテーマとした活動を実施しました。

Action
18

環境活動



名刺にバナナペーパーを採用

環境への負荷を考え、全社員の名刺をバナナペーパーに変更しました。

Action
19

地方創生



官民連携による子どもの読書推進活動「トライ!生駒子ども読書会議」を開催

「SDGs未来都市」の一つである奈良県生駒市とSDGs目標「質の高い教育をみんなに」の達成に向けて、子どもの読書活動推進とキャリア教育支援を目的に、「トライ!生駒子ども読書会議」を開催しました。

Action
20

温暖化対策



北海道中標津町よりJ-クレジットの購入

平成29年より継続的に北海道中標津町が発行する「J-クレジット」の購入を通して、中標津町の森林づくりに協力させていただいております。

＼ 実際に協働したステークホルダーに聞きました！ ／

ネオキャリアとの協働により

サステナブルアクション を行った理由と影響

Q なぜ 当社と協働する判断をしていただけたのでしょうか？

- 企業として真摯に社会貢献活動に何が出来るかと向き合っている姿勢及び、他者を否定しない柔軟性が素晴らしいと感じたから。(一般社団法人 新宿NPOネットワーク協議会 島様)
- 自分の見た景色をほかの方に知っていただく機会となるため。ダイバーシティやインクルーシブに興味を持っていただける企業と考えたため。(帝京科学大学 岩沼様)
- ネオキャリアがサステナブル活動をされているというご紹介を頂いたことから。(一橋大学 田中様)
- 社会福祉法人における地域公益活動を企業と力を合わせてになっていきたいと感じていたから。(新宿区内社会福祉法人連絡会 今井様)
- 新宿に本社を構えられている企業であり、サステナビリティ活動に熱心に取り組まれている様子を伺い、ぜひ協働したいと考えたため。(NPO法人 新宿環境活動ネット 飯田様)
- 同じ新宿区内でCSR活動に取り組んでいる企業だから。(DIAM JAPAN株式会社 上石田様)
- サステナブル担当者の行動力、そして地域活動やサステナブルアクションに対する熱意とコラボレーションする事で、何か面白い事が出来そうだと感じたため。(えんがわ家族 渡辺様)
- 講座の企画・運営の申請をいただき、内容が男女共同参画社会の啓発に資するものと認められたため。(新宿区子ども家庭部男女共同参画課 小山様)
- 企業による区内の社会貢献活動を行ってほしいという意思により、新宿CSRネットワークに加盟していただいたから。(社会福祉法人新宿区社会福祉協議会 長谷川様)
- 企業のボランティアの方を募集している時に、何か社会貢献をしたいとのことで、ご協力いただきたいとお願いしました。(東京ボランティア・市民活動センター 河村様)

Q 当社と協働して良かったこと、今後、期待することを教えてください

よかったところ

協働を通じて

- イベントを通して、学生からサステナブル担当者、事業者など様々なジャンルの人を巻き込みながら意見交換が行えたこと
- 当会の一番の目的である、「繋がる」ということが実現出来たことそしてさらに、今後への期待が持てたこと
- これから就職活動をする学生が、SDGsの実践がどのように進んでいるかを肌で理解できたこと
- 利用者(障害者)がボッチャというパラリンピック種目を通じて地域の様々な方とスポーツをする時間が共有でき、かつ一人一人が大会に参加できたこと
- 「新宿×SDGs」をテーマに、次世代を担う子ども達とともにアクションができたこと
- 産学民の協働により、以前より実施してみたいと思っていた企画を具現化し、地域に新たな価値を生み出すきっかけが出来たこと
- ネオキャリアさんと協働する事で、企業連携による新たな可能性を感じる事が出来たこと
- 学生だけでなく、教員もその過程で協働し、新しい授業を生み出す過程を楽しむことができたこと

期待すること

今後の当社に

- 活動が、サステナブル担当者だけの印象があります。他の社員の方とも繋がりを持ってたら嬉しいなと思っています
- サステナブル活動と学生の実地的な協働、海外におけるサステナブル活動との連携
- 今回イベントをご一緒させていただいたことをきっかけとして、今後は継続的なお付き合いをさせていただければと考えております
- これまでのご経験やストーリーを共有してもらいたい
- 一過性のイベントとして終えるのではなく、今後も協働で活動を継続させていく事で、持続可能な地域コミュニティづくりの発展に共に取り組んで頂けたら幸いです
- イベントだけに限らず継続的な中長期的な活動をご一緒させていただきたいと考えております
- 行政との関係づくりも進めていく事で、ともに更なる活動の発展に繋がっていただければと思います
- 社会貢献やボランティアに関心のある社員の皆さんにご参加いただければと思います

サステナブル活動による効果

2022年のサステナブルアクションで
かかわっていただいたステークホルダーの数

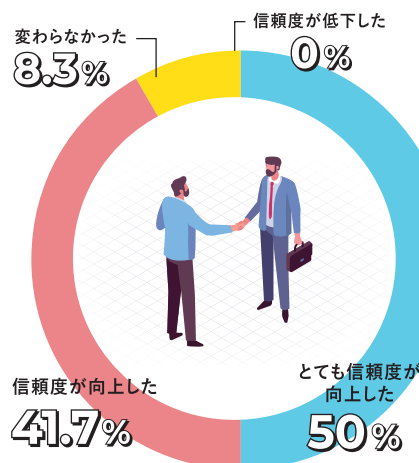


イベント参加人数内訳

子ども・家族 1,395名 | 福祉施設の関係者 818名
NPOの方々 230名 | 学生 60名 | 地方創生 50名
寄付関係者の方々 320名 | 外国籍の方々 25名
地域のイベント 3,281名 | サステナブル担当 11名
社内メンバー 469名 **合計6,609名**

協働による信頼の変化

※2022年に協働をいただいた12の協働先に「信頼」についてアンケート回答いただきました。



企業の信頼度
に大きく影響する!!
は

サステナブルアクション

協働を通じて企業への
信頼が向上した協働先およそ

92%

サステナブルアクションを協業することで、90%以上の企業が信頼度が向上するというアンケート結果になりました。サステナブルアクションは企業イメージや信頼度の向上に大きく影響があるということが分かります。

pick up

毎年開催福祉アート展

サステナブルアクションレポート2022の表紙には、社内で開催した福祉アート展のモニュメントである「ダイバーシティウォールパズルアート」を採用しました。このモニュメントは、区内の福祉施設の皆さんと共同で制作されています。



編集後記

「サステナブルアクションレポート2022」をお読みいただき、ありがとうございます。初めてのサステナブルレポートにおいて、ステークホルダーとの協働についてまとめさせていただきました。地域課題の解決は、サステナブルな社会の構築に不可欠です。私たちは総合人材企業として、地域社会の課題解決に取り組むことで、企業の社会的責任を果たし、信頼を獲得する機会となると考えています。また、「協働」を通じて地域社会のニーズを把握し、それに合わせたサービスやソリューションを提供することができます。今後も地域のさまざまなセクターと継続的な対話と協力をを行い、共通の社会課題解決に向けた連携を深め、地域のサステナビリティを推進するための取り組みを続けていきたいと考えています。最後に、このレポートの編集にご協力いただいたステークホルダーの皆さまに心から感謝の意を表します。引き続き、持続可能な未来を切り拓くために、お力添えをお願いいたします。(株式会社ネオキャリア 社長室サステナブル推進)